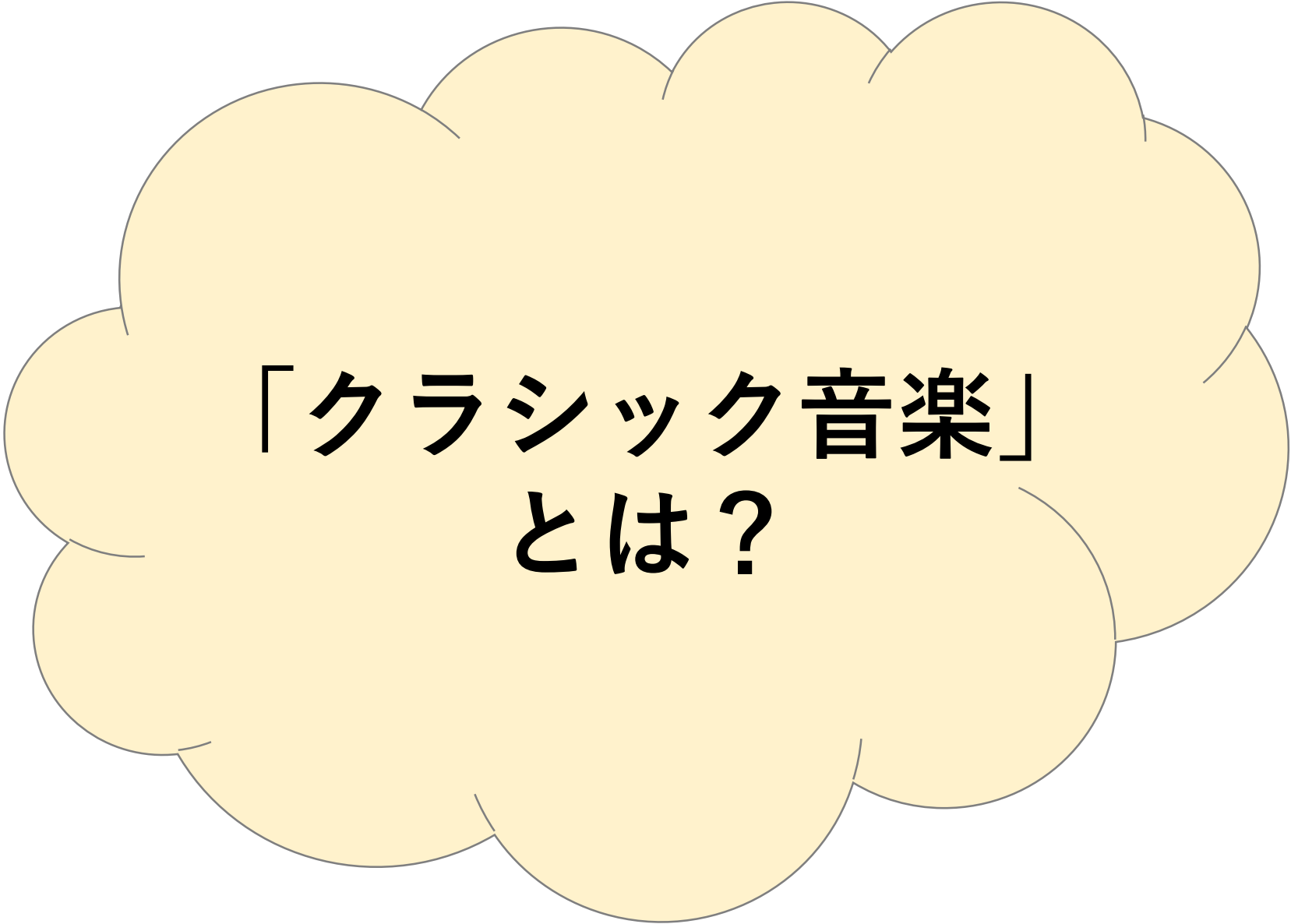


# クラシック音楽入門講座

## 第1講 クラシック音楽の基礎知識



佐藤卓史



**「クラシック音楽」  
とは？**

# クラシック音楽とは・・・

## 【広義】

ヨーロッパ発祥の芸術音楽のこと。

## 【狭義】

「古典派」(1750-1800頃)の音楽のこと。

現在、クラシック音楽として  
演奏されている作品の大半は

**1700～1950年の250年間に**

作曲されたもの

【クラシック音楽の特徴】

# 普遍性

国や地域・民族・時代を超えて  
伝わるメッセージ

# クラシック音楽に欠かせない存在

- ・ 作曲家
- ・ 演奏家
- ・ 聴き手

## 【西洋音楽史概観】“150年周期説”

1300-1450 ゴシック（アルス・ノーヴァ～）

1450-1600 ルネサンス

1600-1750 バロック

1750-1900 古典派（クラシック）～ロマン派

1900- 近現代

# 【楽器の種類】

● 声楽

● 器楽



# 【楽器の種類】

## ●声楽

女声

ソプラノ

(メゾソプラノ)

アルト

男声

テノール

(バリトン)

バス

# 【楽器の種類】

## ●器楽

**弦楽器** > 擦弦楽器 > ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス  
> 撥弦楽器 > ハープ ギター チェンバロ  
> 打弦楽器 > ピアノ

**管楽器** > 木管楽器 > 無簧楽器 > フルート ピッコロ リコーダー  
> 単簧楽器 > クラリネット サクソフォン  
> 複簧楽器 > オーボエ ファゴット (バスーン)  
> 金管楽器 > トランペット トロンボーン ホルン チューバ  
ユーフォニアム

**打楽器** > 膜鳴楽器 (太鼓) > ティンパニ スネアドラム (小太鼓)  
バスドラム (大太鼓)  
> 鍵盤打楽器 > 木琴 マリンバ シロフォン  
> その他 > トライアングル シンバル

## 【編成】

独奏 = ソロ

二重奏 = デュオ

三重奏 = トリオ

四重奏 = クアルテット

五重奏 = クインテット

六重奏 = ゼクステット

・

・

・

管弦楽 = オーケストラ

→ 器楽アンサンブルの究極形

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」

- I. Allegro con brio
- II. Andante con moto
- III. Allegro
- IV. Allegro - Presto

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

作曲者

交響曲 第5番 ハ短調 作品67 「運命」

曲種

通し番号

調性

作品番号

標題

- I. Allegro con brio
- II. Andante con moto
- III. Allegro
- IV. Allegro - Presto

楽章と発想（速度） 標語

# 多楽章作品（交響曲、協奏曲、ソナタなど）の構成

第1楽章 アレグロ＝ソナタ形式

第2楽章 緩徐楽章

第3楽章 舞曲楽章（メヌエットまたはスケルツォ）  
三部形式

第4楽章 フィナーレ ロンド形式またはソナタ形式

# 【日本におけるクラシック音楽受容の歴史】

西洋文化への憧憬

生演奏（ナマ）より「録音」（モノ）が主流に

日本の固有文化との融合

## 【クラシック音楽の楽しみ方】

### 録音で楽しむ

録音・再生メディアの変遷

**SP**（蓄音機） → **LP**レコード → **CD** → サブスクリプション  
（モノからの脱却？）

- ・ 名曲異演の聴き比べ
- ・ 珍曲・珍録音ハンティング



# 【クラシック音楽の楽しみ方】

## コンサートを楽しむ

<最低限のマナー>

「コンサートホールは公共の場所」

「繊細な音を響かせるホールの特性」

- ・演奏者、他の聴衆の迷惑にならないよう  
極力雑音を立てないこと。  
携帯電話・補聴器・紙・ビニール袋
- ・もちろん演奏中の私語は厳禁。
- ・寝ても良い！が、イビキをかいていたら  
周りの人は起こしてあげよう。
- ・過度な静寂を求めるのも不可能。
- ・できるだけ身軽な格好で入場する。

# 【クラシック音楽の楽しみ方】

## コンサートを楽しむ

「拍手は・・・？」

基本的にしてもしなくてもいい。が、  
良い演奏だと思ったら長めに拍手してあげましょう。  
プログラム終演後にはカーテンコール、  
そしてアンコールへ・・・

- ・ 楽章間の拍手は、基本的にNG。  
事前予習するか、周りに合わせるか
- ・ 余韻も楽しむのがクラシック音楽。  
フライング拍手はNG！

## 【もっとコンサートを楽しむには】

事前に予習していった方が何倍も楽しい！  
オペラの筋書きは予習必須。

- ・ 曲目や作曲家について調べる
- ・ 録音を聴いておく・ライナーノーツを読む
- ・ 早めに行ってプログラムノート（曲目解説）を読む
- ・ どんな演奏者なのか？
- ・ 会場のどの席で聴くのか？  
上手側・下手側・1階席・2階席・・・  
最前列？